

アメリカ反戦運動を大きく

表曰ニ度目のフランク君。彼は唯一のアナルゴ・サンシカ系の労組上WWのメンバーだ。IWWは年寄りの天下らしく23才の彼は造反に役かっている。職業はタクシーの運転手。金髪、細い金フチのメカネをかけ、仲々のハンサムな彼。この彼にかかっているのは日本の赤軍など一笑に耐えられてしまった。インタビュは記憶に新しいケント大事件を中心反戦運動全般にわたって行われた。



Frank ← 下条がある

高くついた酒代

④下条 5月4日にケント大学で4人の学生が射殺されました。その事件は日本でも広く報章されました。射殺されたに至った特別の事情と、事の起りなどを教えてください。

④フランク ケント大学はもともとおとなしい大学で、反戦運動もそう活発ではありませんでした。事件は二・三日のうちにすべてが終ったのです。きつかけ……。強いて言うなら酒でしょう。そして四人が射殺されるに至った状況はあくまで権力側が作り出したものでした。

④下条 酒？それはどういうことですか。それに権力が作り出した状況とは？

④フランク カンホミア侵略で頭にきていた連中数人が酒を飲んでいたんです。その酒の勢いで小さな反戦デモをやらうというこじこじになったんですが、いざふたをあけてみると千人以上の学生が集まりました。警視がやって来て、事は丸く収まるところですが、やって来たのは武装州兵でした。当然デモは解散を命じられ、学生もこれに従います。が終ったように見えませんでした。

④下条 翌日、刺殺された学生はキャンパス内での抗議集会に三千〜四千の人数が参加したのです。州兵は解散を命じ、有無を言わさず催涙弾を無数に打ちこんで来た。学生

も投石で応じましたがそのお返しが発砲だった訳です。

④下条 その事件直後、州兵の隊長が丁近くの屋根からぞ撃者が発砲したからだ」と発表したがどうですかその辺の事実は？

④フランク 撃者がいたかどうかは知りません。たぶんデッチェ作だと思えます。はっきりしていることは、殺された人間が屋根の上の人間ではなく地面に立っていた人間だということですね。この事がすべてを証明しているでしょう。状況すべてが州兵により作られたものなら、四人の死者も……。

④下条 州兵の駐留して四人もの死者を出すに至った状況の中で大学当局は何も出来なかったのですか。

④フランク 何も出来なかったというより何もなかったという方が妥当でしょう。もちろん学生の味方をする教授もいます。確か州兵の駐留に反対したのは全職員千人の内二〇人程だったと覚えています。

④下条 この国の知識人も大した違いはありませんね。ところでこのケント大事件は一つの大きなバネになりえた訳ですか、君自身はトナム戦争勃発以来の反戦運動の中でどのようにとらえているのですか。

④フランク たしかにケント大事件は反戦運動の中で大きな契機となりました。事件はサイレントマジョリティを揺り動かして、信じられないほどの数の人々を行動に参加させました。しかしケント大事件は起こるべくして起ったのであり、以前からの反戦運動の一環として捉えなければならぬと思います。

④下条 その反戦運動の盛り上りの中で高校生はどのような対応を見せましたか。

④フランク 私は事件の起った頃、カンサスシティの近くの小さな大学所にいたんですが、そこにあるシア・ハイスクール（一五〇一五）でも活発な動きがありました。高校生達はカンホミア侵略反対の請願書を州政府事務所に提出したり平和的なデモをしていました。人殺りもかなりいたようですよ。

右翼と共産党

④下条 ニューヨークで、屋条権を掲げヘルメットをかぶった右翼労働者がデモ隊に殴り込んだ事件がありました。奴らは完全に右翼で、非常に高給をとっている建設労働者です。

④下条 右翼はどれだけの勢力で昔段ほどのような事をやっていたんですか。又、組織のようなものですか。

④フランク 別段これといった事はやっていませんが東海岸の港湾労働者を支配しています。組織は……ものはありますが、実際は暴力団のようなものですね。昔、東海岸は労働条件が非常に悪く、地域のボスが仕事を回してやるという形になっていき、それが根をのろすことが出ました。

④下条 西海岸の方はどうなっていますか。

④フランク 西海岸の港湾労働者は共産党が支配しています。西海岸はあくまで新興地ですから東海岸のようには事はないんです。

④下条 日本の共産党は覚悟が二〇万〜三〇万程いて勢力は大きいのですか、アメリカの場合はどうでしょう。

④フランク 全然大したことではありません。全部で八千人程です。レッド・ファシスト達はカンホミア侵略に対して、きわめて平和的なデモ以外に何もしていませんでした。ただ小さな行動組織に援助などをしているようです。フランク・パンサーもその一つです。

④下条 フランク・パンサーという人と表したこともあろうし、我々も興へ（下頁下段につづく）

土着のアナキズムへの模索

革命の可視的具現は、必然ナルシヨウ社会の転覆である。体制への国家へ物理的暴力、経済的暴力、情報的暴力Vの呪縛と、反体制へマルキシズムの呪縛があるとき、それは非体制へアナキズムの革命である。日本列島においては、西洋派アナキズムでなく、土着のアナキズム革命へ意欲革命、性革命、文化革命、そして総体としての社会革命でなくてはならない。というより、そうでない限り革命はない。近代日本は、汎やまと民族の中に、北一輝・宮崎滔天・幸徳秋水の三傑と辻畑という意欲革命の先驅を有している。そして横行する奴隷的日本人の中には土着的生命力と土着文化の萌芽がお潜在している。

絶望しながらも私は、叛乱の猛爆があることを断じたい。中世から近世にかけての好ましき無秩序(乱世)の中に華々しく南花した土着文化は、我らが意欲的に追求する七〇年代革命の中に力強く再生するだろう。フランチ・フアノンがいうように、人間争の中に文化が永眠することはないV。彼が「パン・アフリカ文化宣言」を草したように、革命的日本人汎やまと民族は、汎やまと文化を高らかに告げ、創造の歩みを始めらるだろう。

革命の先駆へ前江ではないVにるべきアナキストは、「歴史を媒介とした原理」(村上一郎)に立って、各自の哲学的深化をけり、叛乱欲望と叛乱幻想を理想化する作業を性急にしがし慎重に開始すべきであろう。結局、茶番劇に終始した十一月闘争で、二十人のへ平連が、警察隊動隊に守られた反動的右翼数十人の日本刀や木刀に蹴散らされた事実、何を物語っているのか。愛すべきトロツキスト共産同赤軍派が、もはやいかなら小さな闘争も、軍事闘争としてしか展開しえないと言っているのは、武装蜂起主義者の全くの痴言であらうと嘲笑する事は、今の私にはできない。だからこそ、革命を射程にのいて軍事へ革命がその要素として軍事をもつ以上、

それを避けるのは後退に他ならない。をい含んだアナキズム理論、東洋的アナキズム(豊津珍彦)或いは日本のアナキズム(尾崎士郎)、私の言う土着のアナキズムが要請されるのだ。(すき、たけし)

反抗的人間とは

反抗的人間とは何か? 否と言う人間である。なぜ否と言うのか。万人と共通な価値(正義、幸福)を尊重するためである。ゆえに彼はひとりではない。こゝからカミュは「われ反抗す、ゆえにわれあり」という命題を引き出す。反抗とはまず何よりも人間のおかれていた自然の歴史的条件にたいする反抗である。それゆえに人々は共通の条件に縛られていて、相互にコミュニケーションをもち、理解し合い連帯することができる。すなわち反抗の起源には自己と他者の間に共同性(われあり)が存在している。それゆえ反抗は共同体的なモラルを持たざるを得ない。

もしある反抗者が正義のために殺人を犯すとする。そのとき彼と他者の間にあった同じ条件を持つものとしての共同性は否定されてしまう。彼は相手を殺すとともに自己の存在をも否定しているのだ。自己と他者の間の共同性をあくまでも守りたければ、彼は相手を殺すとともに自己も死なねばならない。すなわち反抗的人間はその定義上、殺人を犯すことは不可能なのだ。

反抗的人間は反抗することにより他者と共同性(われあり)を持ち、彼の反抗は共同体的なモラルを伴う。しかもその共同性(われあり)は静的な状態としてあるのではなく、否定の熱い闘争のさなかにおいてしか生み出されないし、保持されない。

反抗的人間は「死」というような万人に共通な自然的条件にたいする闘いのさなかにおいて、他者への愛(われあり)を共有し、自己の生を汲み尽くす。また反抗的人間は疎外、抑圧というような万人に共通な歴史的条件にたいして共同性(われあり)をもって反抗を試みる。

情報社会の真相

金婚老氏をめぐって

情報がその巨大な量でもっていかにも本当らしい顔をし、民衆に信じこまれようとして、結局真実をへ陰蔽する機能を果してしまふ。情報社会とは真実陰蔽社会のことなのだ。それが今、起っている。

私は先づ何よりも具体的な例として、ジャーナリズムによる金婚老氏の取り扱いに横り以上のものを感ずる。彼らは結局陰蔽以上の役割は果していないのではないか。

自由発言

新聞などの書き方を追って行くと、最初は「自殺をほのめかしたら看守が包丁差し入れ」「静岡刑務金婚老が訴え」という風に金氏の主体的行動に端を築いていることを告げている。しかし、知らぬ間に彼は二畳の部屋へとねじ曲げられ、彼が抱置所内で普通の人間の生活に近いことをしていることが専ら非難の対象になっているのである。つまり、拘置所内での非人間化に反発し、女も賛同を手えよ、という訳である。これは明らかに情報による民衆操作である。私はコトの起りを知、ている限りハッキリとこゝで録して、このような情報のへ陰蔽構造に挑戦してきたい。

全まは三月二五日の第一二回公判の概きなのだ。当日弁護団と被告は元主任検察官岩成重義を証人喚問した。四度目である。彼は検察人の冒頭陳述を書いた人物なのだが、その冒頭陳述は反対尋問の過程で論理的に破綻していた。だいたい個々の断片的事実と「監禁罪」などの綜合判断は述べても、両者の間の論理的綜合過程に問題が融れて来ると一般的にそう言えるのです」とは断し、これに不都合な事実については「あ、そのことは記憶してません。そんなことがありましたかね」なのである。そして極力犯行の動機から民族問題を消そうとする。

そこで弁護団は次回も彼を喚問するか、それとも当時の高松県警長(現在はあの事件で榮へして大阪府警に在る)を喚問するか、を要求した。

募! かりキラー数名(経験者同) 自由連と怪しい関係に陥いりた方(仕事は無限にあり) ます。給与ナシ。

裁判長は何度も控室に退いた後、両方とも却下した。

その時だ。被告金指老が立ちあがり、「私は三つ秘密を知っている。迷惑をかける人のことを思っ

て黙っていようと思っただが、このような事態なので、一つだけ明らかにする。警察は私を自殺させようとして爆薬を差し入れた。調査して欲しい」と言ったのは。

「BAMBINO No.34より 川西 前花屋敷3の8の16加茂兄弟団 発行」

テモだけで いいんか!?



朝日ジャーナル誌を小田実氏は、なせテモに表さないのか。自分

が表に出てやる事以外には怒りを表明する手ではない。今まさに

そうした時が始まったのである。私に電話をかけたきた女の人はな

世テモに行こうとしないうのだから。怒りが人の内側にこもって来ていることはわか

ンホシアの人々に近づくことはできない。

「にんげん」より、清水市梅ヶ岡 3の5井上豊子方しみずへ平運発行

釜ヶ崎より

釜ヶ崎はアンゴと暴力のスラム、社会のふきだまりと概念化されている。そして社会生活に耐え得ぬ者を送り込む為の収容地域として国家に

より指定され、単体肉体的労働力の集積地としての機能を果たすことを企業により求められる。

警察権力は集会・集団暴力行為の取締りという大義名分のもと、労働者の不平不満を歪少化し葬りさる。

一方暴力団は労働需要の統括配分化、つまり手配師を通し露骨に中間搾取をねらう。その同じ暴力団の支配下

にある遊藝街は、売春・賭博を通じて労働者の自己意識を破壊せしめる以外の何物でもない。

しかしここにも企業・商店があり、家庭生活を営む大衆がいることを忘れてはならない。建物はバラックであるがむしろいい。そして人の嫌う

仕事をやっていることもあろう。だがここにあらのは普通の人間の生活なのだ。

釜ヶ崎への招待状

私は七〇年代の具体的活動を模索する中で釜ヶ崎に取り組むことを考えています。ここを日常性を告発し

変革する論理を実践し、素直な子供達と接触することにより、自己を向い直し純粋なものを追及してみたいのです。

八月は研究と討論を主軸に子供会を創造していく方向で、二週間程度の集団生活を行う予定です。

この六月でホシマツマッてしまったあなた、そして胸心のあるあなたを招待いたします。もちろんあなた自身が主体的に参加されるというかたちで。

「連絡は自由連合社発行 釜ヶ崎通信 川崎直樹まで」



夏向き映画ポスター

ヨーロッパ アナキズム 武者修業の記

(12)

尾関弘



ポーランド問題が落着いたあと、一時ロンドンにいたバクニンがフロレンスに入ったのは一八六四年のこと。が、フロレンスでのバクニンはほとんどめだつた政治的活動はしなかつたようである。それにしても、フロレンスにおけるアナキズム運動の歴史は長く、百年を越す。現在の運動が必ずしもその歴史の重みにたえうるものではないにしても、地味なそれではあるが、フロレンスに息づいている。

フロレンスのアナキスト・グループはカミロ・ヘルネリ・サロ・ヘルネリあるいはマリ・ア・ルイス・ヘルネリの名は日本でこそ知られることは少いが、イタリアとりわけフロレンスでは、イタリアの生んだ偉大なアナキストの一人としてよく知られている。彼は、同郷の同志のカンパによって刑責をつくり、スペイン革命に義勇兵として参加するが、アフアシストではなくコミュニストによって殺されたことを記憶されている。それはフロレンスのアナキストの一つの原典となっている。友人のパウロがよく言ったものだ。「共産党をさらさら左翼集団」と思ふながら、彼らは左翼のポースをとってアフアシストだから。

フロレンスはカララと並んでトスカナ地方でもアナキズム運動の盛んな土地である。かつては立派な事務所を町の中央近くにもっていたのだが、三年前、警察のかけ入れと、こいていぬいにもその後、ハ失火事件——アナキストの連中は警察にたいこんだのも火をつけたのもコミュニストだと思っている——以降、最近までないままであった。

それが、10・11月の運動の高揚とともに強い必要が生じ、ついに最近になって新しい事務所ができたのだ。事務所というより秘密の

アシトのようなそれは、古い大きな教会の裏にあり、学生下宿用アパートの地下にあった。寝室、便所、印刷室を備え5部屋もあるのだから立派なものである。それにしてもかなり金がかかっているといえたり、みることも、ちよつと頭を使っただけで休戦したんだと返ってきた。

以前、パウロにイタリアにおけるアナキズム運動の内部的な問題で一番困難なことは何なのかを尋ねたことがある。パウロは、「それはインテリゲンチエアリスツの問題だと答えた。イタリアでいうハインテ・イワイシエアリスツとは、日本ではいわれる無政府個人主義者、ステイルネリアンではない。運動をする場合に、組織の行動によらずに個人行動を軸とすべきであると考える人々である。彼らはインテルナチオナトリスツという機関紙を隔週刊に出しているが、それ以外に何もしていない。老アナキストのグループである。だから勿論イタリア、アナ連には反対で、アナキスト・インター・ヒキにも会場付近で弾劾ビラをまいていた。彼らはまた亡命イタリア人アナキストに支持されているために金はあるぞうだ。現にロインテルナチョナレにもアメリカに在住しているイタリア人・アナキストのカンパで発行しているらしい。

新しい事務所は一応彼らとの共同事務所という形で、金は出させるが、口は出させないしパウロは言った。

フロレンスにはかなり多くのインテリゲンチエアリスツがいる。昔から青果の卸売り市場に集まる小店主がそのインテリゲンチエアリスツ系のアナキストであったというのはおもしろい。彼らは集会となると、みんながみんな申しあげたように自転車に乗ってやってくる。

自由連合組織をも目的としたものあらゆる組織を片意地なまでに嫌っている彼らには同意しかねるが、話し合えば彼らの気持ちもわからなくもなかった。それは、より純粋な形でのアナキズムの理想を最も大切にしていた。現実運動を最優先させて、しばしば実効や結論のみを向題にしがちなほくらに欠けているものをもっていた。

フロレンスは、多くの知っているイタリアの町でも例外的に、オー

ルド・アナキストと若いアナキストの間がうまくいってあり、知識人アナキストや学生活動家、インテリゲンチエアリスツともうまくいっている。借りたばかりの新しい事務所を隔かれたFAGI（イタリア青年アナキスト連盟）のトスカナ地区の集会には、インテリゲンチエアリスツも参加して多くの性向のアナキストの参加が可能だった。それは、フロレンスならではのことであつた。

編集手帳より

- ④へ自連は資本主義商品的に、定価を30円とつけている。だが送料とするとかなりの郵税20円をひくと、代価は10円である。その10円のなかに、原紙、インク等消耗品、封筒代、労力、仕事の為の交通費がはいっている。
- ④へ自連は自連発行だけやるものとして出された。つまり新聞発行ということにおいて、資本主義的なそれと全くちがった復のへ経費をつくり出そうとしている。そして自連社がへ自連を出すだけのものがあるが、このことはすこぶる重要な意味をもっている。
- ④自連がよく売れるということは、もし30円なら安いという内容をもつことでどうであるなら、それは決して喜ぶべきことではない。へ自連がお金に換換できない価値としてのへ創造であり、自連社はその非金銭的価値を生産するへ聖堂であることこそばくらの求めていたものなのだ。
- ④自連は再び新しくつくり出されねばならぬ。そのためにはまず何井的イメージをつぶせ、何井的ならばを惜しみなくやつつけろ。三号月号が創造物としてある自連づくりを必死になつて目指せ。これが困難だとおもむくが、しかし、という妥協をいつまでもしてはならぬ。
- ④へみんななでつくるあなたの新聞は、何よりもまず破棄する。へ自連は創りたいと思うものだけでつくる社員の新報である。(小川信)

と 出きます。六月下旬、甲込み
現代暴力論 一ト
〇部24アのみ千行付付二五〇円

自由連合 17号用 アンケート

- Ω このアンケートは、姫路市龜山354へ返送して下さい。
- Ω 自連を毎号確実に入手する為には出来るだけ直接定期購読して下さい。
- Ω 購読料納入には振替口座をどしどし御利用下さい。番号は大隈12864です。
- Ω あなたも自連に原稿を書いて下さい。又記事になるような資料・機関誌を送って下さい。多くのグループとの交換を希望します。

⊕ 次の項目に○印などお入れ下さい。



1 本号に注目する記事はありましたか

(1) あった (2) なかった それは _____ 頁の _____ 頁の _____

2 読む程でもない記事は

(1) あった (2) なかった それは _____ 頁の _____ 頁の _____

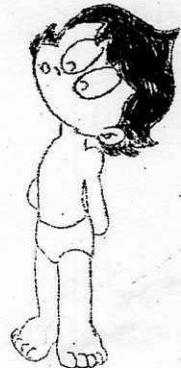
3 今後の自連送附は?

- (A) すでに申し込み済 (B) 今号から購読する (C) 送附不用
 (D) 時々カンパするから送れ (E) 次号から ~ 部に変更

4 自連とはドンナカナとか読んでミタイナとか思っている人を紹介して下さい。

なまえ ところ		し こ と	と し	

送ってね！ ありがとう！



友よデモ隊はわれらの敵ではない

昨年11月、ひとりの自衛官が自衛隊法違反(怠業行為煽動)の疑いで逮捕されたと、新聞が報じていました。 彼、小西誠三等空曹(佐渡航空自衛隊レーダー基地勤務)は、デモ隊を暴徒として鎮圧する治安出動訓練を拒否し、〈アンチ安保〉のビラを通じて、"友よデモ隊はわれわれの敵ではない!" と呼びかけたのです。

自衛隊と検察庁は、彼の行動が外部に知れるのを何よりおそれて、たとえばその拘留理由開示公判を、予定より30分も繰上げ、秘密を守ろうとしました。唯一人の傍聴人だった司法修習生に対しては、検事がかたく口止めをし、また裁判所公示黒板に一日中書かれている筈の公判案内も、検事の手で消されていました。

ところが、この消された黒板に疑問をもった地許の一記者により、事実がスッパ抜かれてしまったのです。

いったん、こうして問題が明るみに出て、世間がさわがしくなるや検察庁は聞きなあって起訴に踏切りました。 つまり一かバチかの大バクチをうつことに佐

藤政府はカクゴをきめたのです。

つまりひとたび彼を裁判にかけるとき、かならず自衛隊そのものが憲法に照して問題にされ裁かれることは明らかです。

たとえ10年15年かいても、現在の私生児的な自衛隊を、裁判で認めさせ、立派な軍隊にする! と一巻へ

小西裁判を注視せよ



—表よりつづく—

政府は、はつきり国民の与論を相手に、たたかいを挑んできたのです。

そしてこのごろは、

『国を守る気概を持て!』 『在外邦人の生命や権利・財産を守る派兵は違憲ではない!』 『自衛隊員は安心して人殺しをやれ。あとのことは政治家がひきうけた!』 などと、政・財界からまるで戦時中のようなアドバルーンが、あがりはじめました。 また、マスコミも、これに呼応するように、自衛隊支持の声をながし、巷にはリバイバル軍歌がハンランして、国民の憲法感覚を次第にマヒさせようとしています。

7月23日オ1回、9月25日オ2回、といよいよ公判がはじまりました。 例えば起訴状にかかれた〈オ46警戒群通信電子隊〉ひとつにしても、46という数字の意味は? いくつ迄番号はあるか? 日本国内の分類でなく、朝鮮・台湾もはいつているのか? 米軍の呼称番号と同一なのか? と忽ち、自衛隊の実態に迫るものへと発展しています。

この『小西裁判』は、以上のことだけでもわかるように、まさに小西を裁くことで、あべ之べに自衛隊を裁くか、それとも小西さんが裁かれてしまうことで、ついに日本の軍国主義化をゆるし、憲法を形骸化してしまうか、その夫王山ともいべき大切な裁判です。 今後の成行きに注目し、与論をおこして 支援して下さることを訴えます。

オ2.オ3の小西を! 非暴カ直接行動委員会

